

MONUMENTAL

HARMONIC STEREO TREMOLO



MONUMENTAL HARMONIC STEREO TREMOLOは、モニュメントバレーの見事でギザギザした赤砂の砂漠の風景を思わせるアナログの光学式トレモロです。本機は、ハーモニックトレモロと標準トレモロをステレオでブレンドし、豊かで甘美な温かみのある脈打つモジュレーションを創り出し、はるか昔に我々の愛する母なる自然が創造した「谷」と同じくらい滑らかでいてギザギザなエフェクトを生み出すことができます。

9 volt DC, Center Neg.100mA min*

*Walrus Audioエフェクターの電源はアイソレーテッドパワーサプライの使用を推奨します。
デジーチェーン式のパワーサプライは推奨しません。

CONTROLS

VOL: 左右のチャンネルの全体音量を調整するために使用します。反時計回りに回すと音量が小さくなり、時計回りに回すと最大音量になります。最大音量で+10dBのクリーンゲインを得ることができます。

SHAPE: LFOの波形の変更時に使用します。

サイン波  スクエア波  ノコギリ波  ランプ波  バンプ  ランダム 

PAN: 左右のチャンネルのステレオ・スプレッドをコントロールします。反時計回りは標準のトレモロサウンドで、左右のチャンネルには同一のLFOがあります。ノブを時計回りに回すと、右LFOの位相が相殺され、ステレオに広がります。完全に時計回りにすると、右チャンネルのLFOが左チャンネルのLFOから180度位相がずれ、パンニングが最大になります。



0% PANNED



50% PANNED



100% PANNED



CONTROLS

RATE: LFOのスピードを微調整します(TAPのLEDは常にレートを示しています)。反時計回りにすると速度が遅くなり、時計回りにすると速度が速くなります。

DEPTH: トレモロエフェクトのかかり具合をコントロールします。反時計回りに回し切るとトレモロ効果がなくなり、時計回りに回すとトレモロ効果が最大になります。

S-B-H: このノブを使用して、スタンダード・トレモロモードとハーモニック・トレモロモードのブレンドができます。

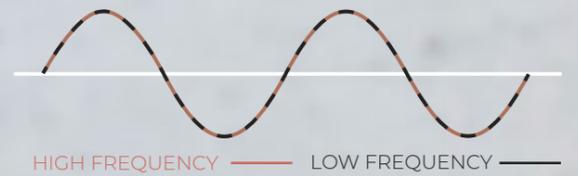
スタンダード・モード時は、すべての周波数が同時に影響を受けます。

ハーモニック・モード時では、ハイとローが互いに相殺されます。ハイが有効の状態では、ローはオフになります。ハイがオフの状態では、ローが有効になります。

Pro Tip: S-B-HノブとPANノブを組み合わせ、実験することで、興味深いポリリズムサウンドを創り出すことができます。

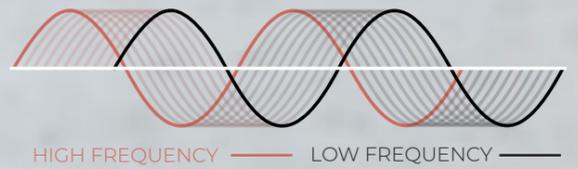
STANDARD MODE

(S-B-H ノブが反時計回りいっぱいの状態)



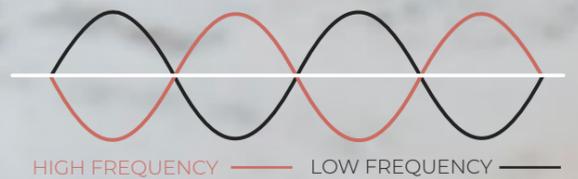
BLENDED

(S-B-H ノブはローとハイを分離し始めます)



HARMONIC MODE

(S-B-H ノブが時計回りいっぱいの状態)



TAP DIVISION BUTTON: このスイッチを使用することで、現在のレートに基づくLFOのリズムの細分化が可能になり、そのレートはRATEノブ、またはTAP/RAMPボタンで設定できます。タップ・ディビジョンは常に有効な状態です。

利用可能なリズム:

4分音符



2拍3連



8分音符



8分音符3連符



16分音符



BYPASS: このスイッチを1回押すと、エフェクトがバイパスまたはアクティブになります。エクスプレッション・パラメータを編集するには、ペダルがアクティブな状態時にバイパス・スイッチを長押しします(詳しくはエクスプレッションの説明をご覧ください)。

TAP/RAMP: このスイッチを押して、LFOのレートを設定します。タップは平均化されるため、より正確なタイム感を得るためにはより多くのタップをする必要があり、「タップの回数=より正確なタイミング」になります。スイッチを1回タップすると、LFOの開始点がリセットされます。タップ・テンポ・スイッチを押し続けると「ランプ」機能が作動します。スイッチを押したままRATEノブを調整して、LFOの上昇値を決定できます。ランプする速度を設定中のテンポよりも遅く設定すると、ランプ速度が下がり、リリース時に設定したテンポに戻ります。ランプ速度を設定中のテンポよりも高く設定すると、ランプ速度が上昇し、リリース時に設定中のテンポに戻ります。これはプリセットごとに保存が可能で、ライブ・モードでも機能します。



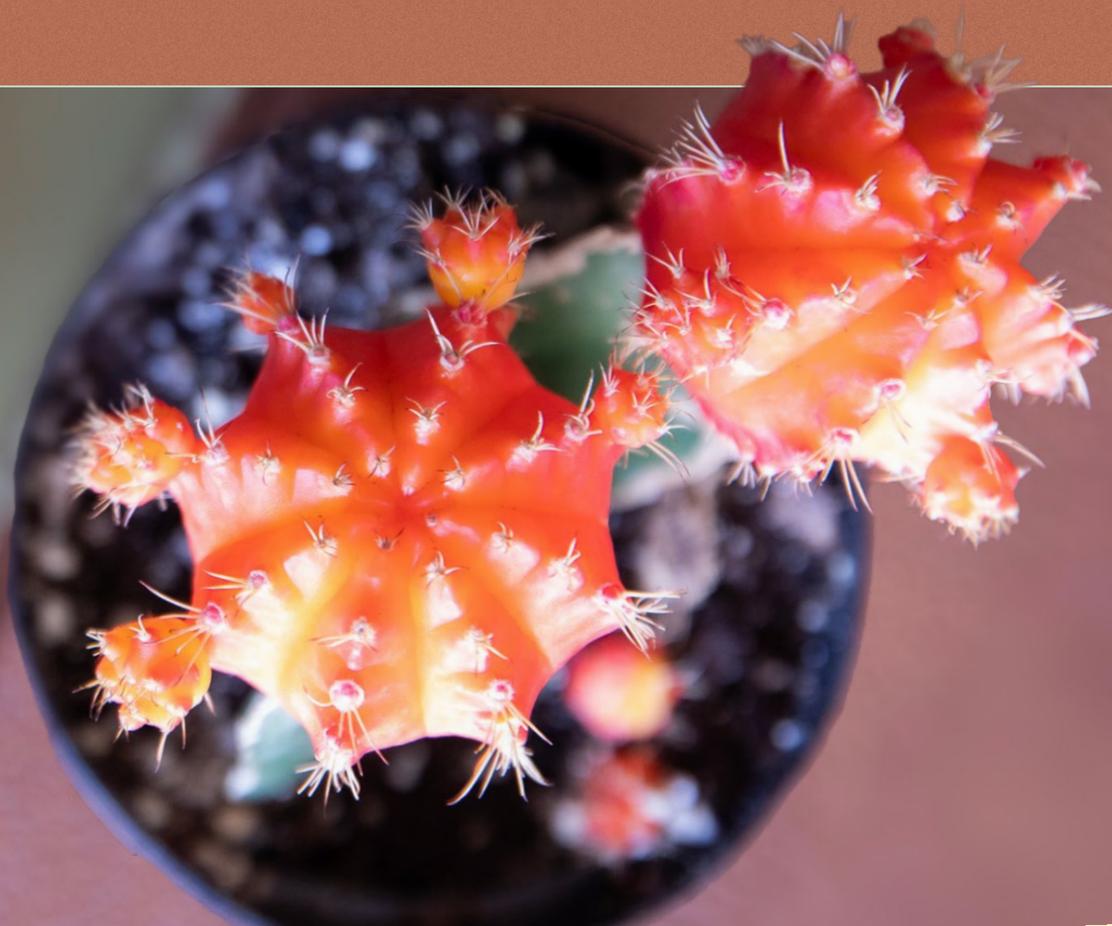
PRESETS: 本機には、3つのオンボードプリセットと、追加のライブ・モードが実装されています。各プリセットは、ペダルで使用可能なすべてのパラメータを保存し、呼び出すことができます。バイパス・スイッチとタップ・テンポ・スイッチの両方を同時に押すと、利用可能なプリセットが切り替わります。

プリセットを使用しているときにパラメータを変更すると、バイパスLEDの色が紫に変わり、変更が行われたことを示します。その後、ノブを回すと、ノブが保存された位置にあるときにバイパスLEDがプリセットの色に戻ります。プリセットに保存したいサウンドを決定し、バイパスLEDが点滅した後にプリセットの色が点灯するまで、両方のスイッチを長押ししてプリセットを保存します。(この時、バイパスLEDはプリセットの色に戻ります。)

ライブ・モードでは常にペダルの設定してあるノブの位置に戻ります。

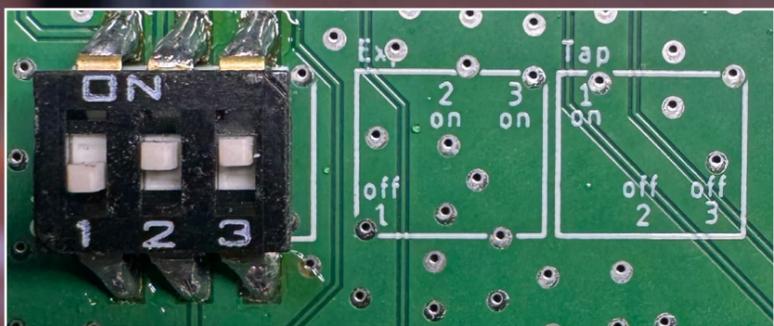


PRESET RESET: 両方のスイッチを押しながら、ペダルに10秒以上電源を入れてください。10秒以上経過後に両方のスイッチを放すと、ペダルが工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。



Input/Output:本機は、モノラル入力/モノラル出力・モノラル入力/ステレオ出力・ステレオ入力/ステレオ出力の、複数の構成で動作させることが可能です。ステレオ機能を最大限に活用するためには、ペダルをモノラル入力/ステレオ出力、またはステレオ入力/ステレオ出力で動作させることを推奨します。

TAP/EXP:この入力を使用することで、外部のタップ・テンポのコントロールやエクスペッション・ペダルを接続できます。この入力の動作は、内部ディップスイッチによって決定されます。本機の背面プレートを取り外し、操作します。外部タップテンポを使用する場合は、ノーマルオープンスイッチを備えた1/4インチTSケーブルを使用する必要があります。エクスペッション・ペダルの場合は、1/4インチTRSケーブルを使用する必要があります。



エクスペッション・モードに設定する場合は、スイッチ1を下に、スイッチ2および3を上を設定します。タップ・モードに設定する場合は、スイッチ1を上、スイッチ2および3を下を設定します。

NOTE: TAP / EXPジャックからケーブルを抜き差しする前は、ペダルの電源をお切りください。

EXPRESSION

外部エクスペッション・ペダルを本機に接続すると、本機のすべてのパラメーターを完全にコントロールすることができます。

エクスペッション・ペダルにコントロールを割り当てるには、ペダルがアクティブな状態でバイパス・スイッチを長押しします。これにより、エクスペッションのエディット・モードに入ることができます。バイパス・スイッチを押している状態で任意のノブを回す(またはタップ・ディビジョン・ボタンを押す)ことで、エクスペッションに割り当てが可能です。複数のパラメーターを一度に割り当てることができます。

RESET EXPRESSION CONTROLS: エクスペッション・エディット・モード中、デフォルトのエクスペッションのコントロールに戻るにはTAP/RAMPスイッチを1回押します(TAP/RAMPスイッチを1回押し、コントロールする別のパラメーターを選択しない場合には、ペダルはデフォルトでエクスペッション・ペダル経由でRATEをコントロールします)。

NOTE: それぞれのエクスペッション・ペダルには個体差があるため、コントロール可能な範囲もエクスペッション・ペダルごとに異なります。



SPECS

POWER REQUIREMENTS:

- ・ 9VDCまたは12VDC、100mA、センターマイナス

SIGNAL SPECS:

- ・ ヘッドルーム 1.7Vpp(12V電源使用時のヘッドルーム2.6Vpp) - 信号が歪み始める前
- ・ 入力インピーダンス: ~1M
- ・ 出力インピーダンス: ~300Ohm
- ・ アンバランス1/4インチ入力(TS)、アンバランス1/4インチ出力(TS)
- ・ ノイズレベル: -102.5dBu
- ・ THD %: 0.072% -20dBu @ 1kHz
- ・ トゥルーバイパス
- ・ 周波数レスポンス : 40Hz-20kHz

